



森と海の自然科 活動案内

柴島浄水場見学と柴島集落及び淀川堤敷散策

柴島浄水場は大正3年(1914年)に造られた、当時東洋最大規模の浄水場でした。現在も大阪市民の上水道のほぼ半量はこちらから供給されています。柴島浄水場内にある水道記念館で浄水場の歴史・役割・仕組み等の説明を聞き、そのあと場内の施設を見学します。午後は近辺の古刹めぐりをしてから、淀川右岸の堤敷を下流に向け散策します。

<Bグループ 荘村>

- 1:日 時 2021年10月14日(木) 雨天決行
 2:集 合 10時00分 柴島浄水場 正門前(下記地図の①箇所)
 3:持ち物 弁当、飲み物、雨具、双眼鏡、マスク 等
 (柴島浄水場への入場にはマスク着用が必須です。)
 4:目的地 柴島浄水場(場内の水道記念館は国の有形文化財として登録されている。)
 淀川河川公園(隣接する干潟及びヨシ原は都会にある生き物の貴重な宝庫になっている)
 5:行 程 約5~6キロ

- 最寄り駅から柴島浄水場までは徒歩で10分程かかります。駅には集合の15分前に着くように余裕をもって来て下さい。
 ○柴島浄水場の正門には守衛室があり関係者以外の入場はできません。当日は浄水場職員の誘導で10時に場内に入りますので、**集合時間を厳守して下さい。**

阪急南方駅及び地下鉄西中島南方駅 ⇒500m 柴島浄水場
 ⇒1300m 柴島神社(途中、法華寺、柴島城址あり)
 ⇒200m 淀川堤防道路 ⇒600m 淀川大堰
 ⇒400m 柴島再生干潟(東西延長500m) ⇒ 十三干潟(東西延長1200m)
 ⇒1100m 阪急南方駅及び地下鉄西中島南方駅

昼食は弁当等を必ず持参して下さい。

浄水場の見学は概要説明を含めて2時間程度です。そのあと、浄水場の屋内において昼食をゆくりと摂っていただきます。午後の散策は昼の1時頃から始めます。



*雨天決行ですが雨の状況により午後の散策コースを変更することもあります。